

文化センター指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口文化センター

【指定管理者名】 シンコースポーツ株式会社

【評価対象年度】 令和7年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点 コメント

昨年度と比較してホール関係については増加しているものの、全体の利用者数が若干減少している。また、利用率に関しては全体で昨年度比で約1%の減少が見られた。

一方で、図書の貸出人数および貸出冊数については、昨年度を上回る結果となった。図書室では、貸出用エコバックの設置や傘の貸出など、来館者や図書利用者に対する細やかなサービスを進めるとともに、フードロス問題への取り組みとして企業との提携を通じて食品ロスの削減を行うなど、社会問題への貢献も評価に値する。

また、アンケート結果によると利用者満足度は、貸館・図書室ともに高い評価を得ており、特にスタッフの対応面については、好評価を得ている点も評価できる。

今後も引き続き利用者のニーズ分析を行った上で、積極的な事業展開を進められたい。特に図書サービスについては、守口市立図書館との連携を密にし、さらなる利用者増および満足度向上につながるサービスの提供に努められたい。

収支状況 コメント

令和7年度は支出に対し収入が上回った結果となった。職員数が昨年度より増加したものの人件費は予算内に収められたが、設備保守に伴う管理費の修繕費の支出が微増している。

今回は全体的な収支面は黒字に転じる成果となったが、老朽化に伴う設備の修繕ニーズが第1期目から継続してあることを踏まえ、支出額の継続的な削減に努め、施設機能の向上をはじめ事業強化など利用者サービスの向上に向けた取り組みを実施されたい。

市（施設所管課）による総合評価

概ね協定事項等の水準どおり運営され、令和6年度に引き続き収支状況が黒字へ改善している。

第2期目の指定管理期間が開始し、第1期目に取り組んできた多様なイベント等は継続しつつ、設備面においてサービス拡充に取り組んだ結果、施設利用者の増加につながった点は評価できる。しかしながら、第1期目に課題としていた「広報・SNSへの注力」については、昨年度と同様に改善が見受けられなかったため、今後もSNS等も活用し、新規利用者の獲得や、イベント等の参加者数の増加に努められたい。

また、引き続き利用者ニーズに沿った施設修繕・改修を計画的に行い、適切な施設管理に努められたい。

駅前という好立地な環境で、かつ、公共交通機関や商業施設・社会体育施設が集中する利便性の良さを活かし、これらと相互連携や協働を図ることで双方が利益や満足を得られる関係や状況の構築も視野に入れながら、施設稼働率のさらなる向上を目標とし、本市における文化振興の拠点として市民に文化活動の場及び機会の提供を行う運営に努められたい。

総合評価

B

総合評価区分

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった